

令和5年12月20日

八戸市議会
議長 小屋敷 孝 様

デジタル化推進特別委員会
委員長 山之内 悠

視察実施報告書

本委員会は、次のとおり委員を派遣し、調査視察を実施したので、行政視察等実施要領第2（3）の規定により報告します。

- | | |
|------------|--|
| 1 日 時 | 令和5年11月15日（水）～11月17日（金） |
| 2 視察先・調査事項 | （1）愛知県岡崎市
おかげDXビジョンについて
（2）愛知県安城市
安城市DX推進計画について |
| 3 調査結果概要 | 別紙のとおり |
| 4 派遣委員 | 山之内 悠
吉田 洸龍
土嶺 直樹
長谷川 ひろゆき
三浦 博司
藤川 優里
森園 秀一 |

【委員会調査報告書】

委員会名	デジタル化推進特別委員会
派遣委員名	◎委員長：山之内 悠 ◎副委員長：吉田 洸龍 ◎委員：土嶺 直樹、長谷川ひろゆき、三浦 博司、藤川 優里、森園 秀一
日程	令和5年11月15日（水）から11月17日（金）まで
目的	おかざきDXビジョン及び安城市DX推進計画についての取組を視察し、当市のDX推進の実現に向けた施策の参考とするため
視察先	愛知県岡崎市（岡崎市役所）、愛知県安城市（安城市役所）
視察概要	<p>1 愛知県岡崎市役所</p> <p>(1)調査事項：おかざきDXビジョンについて</p> <p>(2)説明者 総合政策部 デジタル推進課 課長 平岩 慎二 氏 係長 水越 佑一郎 氏</p> <p>(3)概要</p> <p>①背景・目的 デジタル技術の浸透により市民生活をより良いものへと変革させるデジタルトランスフォーメーション（DX）の実現に向けたデジタル技術の活用方針や基本的な考え方を示すものとして、令和4年3月に策定、公表したものである。</p> <p>②具体の取組 基本理念：デジタル技術の活用で実感できる「一步先の暮らし」へ 基本方針及び基本戦略、個別施策</p> <p>○デジタルで便利になる市役所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デジタル化で、いつでもどこでも手続可能に <ul style="list-style-type: none"> ➤ぴったりサービスを活用した電子申請の拡充 電子申請対象手続の拡充 窓口キャッシュレス決済の導入 納付書キャッシュレス決済の拡充 オンライン決済の導入 口座振替申出アプリの拡大 電子契約・電子申請書の導入 学校と保護者との連絡手段のデジタル化 ・デジタル化の「鍵」マイナンバーカードの普及・促進 <ul style="list-style-type: none"> ➤マイナンバーカードの普及拡大 マイナンバーカードの利活用 <p>○デジタルでスマートになる行政</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デジタル技術の活用による効果的な行政運営 <ul style="list-style-type: none"> ➤基幹系業務システムの標準化 RPAの活用推進

A I - O C R の活用促進

公文書の電子的管理

財務会計事務の電子的処理の推進

W e b 会議の活用推進

デジタル技術の活用による保育業務及び幼児教育業務の効率化

道路点検業務における A I の活用

テレワークの推進

校務の情報化

・デジタル技術を活用できる人材の確保

➤デジタル人材の育成

外部デジタル人材の活用

情報セキュリティ研修・監査の実施

○デジタルを活かせる地域社会

・誰もがデジタルの恩恵を享受できる地域社会

➤情報弱者に対する支援

地域情報通信基盤の光化

・デジタルを活用できる地域社会

➤オープンデータの活用推進

デジタル活用地域社会の推進

I C T 教育の推進



2 愛知県安城市役所

(1)調査事項：D X 推進計画について

(2)説明者 企画部 経営情報化 デジタル推進室 室長 稲垣 中 氏
係長 杉山 氏

(3)概要

①背景・目的

・新型コロナウイルス感染症への対応や国のデジタル化に対する方針、さらには自治体のD X化への推進要請等の状況を踏まえ、I C Tの進展や、国の制度改正等に的確に対応し、I C Tを戦略的に活用していくため、本市のD X推進に向けた方針、及びこれに関連する個別施策をとりまとめ、I C Tの活用により、市民サービスの向上や行政事務の効率的推進等の取組を通して、誰もが便利で生活の豊かさを実感できるデジタル市役所の実現を目指すもの。

②具体の取組

方針1 行政事務の見直しと利用者中心の市民サービスの向上

1. 手続における情報通信の技術の利用

- (1)市の行政手続に関する棚卸し
- (2)業務の見直し
- (3)行政手続のオンライン化
- (4)キャッシュレス決済の推進
- (5)AIチャットボットの拡充

2. 情報システムに係る規格の整備及び互換性の確保

- (1)AI・RPA等を活用した市民サービスの向上
- (2)ペーパーレス化の推進
- (3)テレワーク環境整備の推進
- (4)システム構築における標準化されたシステム等の導入検討

方針2 市民や民間事業者等が容易に必要な情報を必要な時に享受できるデータ利活用社会の実現

3. 官民データの容易な利用等

- (1)オープンデータ化の推進
- (2)利用者のニーズを踏まえたオープンデータの公開
- (3)ビッグデータ等の情報分析を活用した政策立案（EBPM）の調査・研究

方針3 円滑にICTの活用を行える環境整備

4. マイナンバーカードの普及・利活用

- (1)マイナンバーカードの普及推進
- (2)マイナンバーカードの利活用

5. ICTの活用に関する人材育成、利用機会等の格差の是正

- (1)次世代を担う児童・生徒の育成
- (2)ICTの活用における格差の是正
- (3)新たな情報発信手段の調査・研究
- (4)Wi-Fi環境の整備推進



所 感	<p>愛知県岡崎市</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ DX推進に関しては、技術革新や社会情勢を踏まえ、各自治体において総合計画の中の一部に位置づけ取り組んでいるところであるが、岡崎市は「デジタル推進課」を設置し重点的に取り組んでいる印象を受けた。具体的内容として、キャッシュレス決済の導入、証明書オンライン申請サービスの導入、電子決済の導入、RPAの活用、AI-OCRの活用推進、ローコードツールの導入、デジタルリーダーの設置、町内会のデジタル化など、多岐にわたり、大変勉強になった。当市としてもDX推進に向けて多くの可能性が秘めていることを自覚し、さらなる推進に向けて取り組んでいきたい。 ・ デジタル化を進めて行きながら、地域との連携もより一層深め、地域の人々がデジタルの恩恵を享受できるような進め方を意識しているとのことで、具体的にはデジタル化によって、スマートフォン等の操作が困ってしまい、デジタル化が逆効果となってしまうように、高齢者をメインに業者委託によるLINEの使い方やインターネットの使い方などの講習会を実施したり、高い町内会加入率を活かした共助の取り組みを推進するために、町内会へ活動支援アプリを試験的に導入し、町内会長や幹部への運営の負担を減らす取り組みも行っている。このように行政だけではなく、地域も巻き込みながらのデジタル化を推進することによって、市民ニーズに沿ったデジタル化を進めることができるのではないかと感じた。 ・ ただデジタル化を進めるのではなく、岡崎市のように市民が求めるデジタル化を行うことでよりスピード感を持ったデジタル化推進に繋がっているのではないかと今回の視察で感じたので、八戸市にフィードバックしていきたい。 <p>愛知県安城市</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 安城市はDX推進計画のもとKPIを設定し、着実に推進している印象を受けた。具体的に保育園入園申請や妊娠届、職員採用試験の申込みなどオンラインで申請できる手続きが39手続にも及ぶほか、書かない窓口の設置、口座振替受付サービスなど多岐に渡る。また、DX推進をはかるために、SE職を採用している点は大きな特徴であると思う。そのため、RPAの作成を外注することなく、役所内で完結できるのは大きな利点であると感じた。当市としてもDX推進に向けて多くの可能性が秘めていることを自覚し、更なる推進に向けて取り組んでいきたい。 ・ 安城市では外部人材活用も積極的に行っており、大学の教授をDX推進アドバイザーに据えながら、全体方針についてのアドバイス等を受け、そこと連携しながらソフトバンクといった企業にDX推進支援と称して委託を行い、各課の課題等をヒアリングしていただきながら改善計画の策定を行い、その策定を基にデジタル推進室でデジタル化を進めていくといった産学官の連携が優れていると感じた。また、デジタル推進室には、約半数を外部人材から登用しているとのことで、行政だけでは分からない範囲のところまでしっかりと対応可能な人材配置を行っていることから、八戸市でもそういった点は見習わなければならないと感じた。
-----	---